

平成26年～平成30年の4～6月(春山)における山岳遭難事故発生場所

<死亡・重傷事故につながる下山中の滑落事故が多発しています!!>

- ハケ岳では、赤岳などで7件の滑落事故が発生し、2件の死亡事故、2件の重傷事故につながっています。また、発生した滑落事故のうち、5件が下山中に発生しています。
- 山岳地帯は冬山とほとんど変わりません。低気圧と高気圧が交互に近づくため、短期間・短時間で天候が変化します。
- 雪上でスリップによる転倒、滑落、気温上昇による雪崩、急激な天候変化(気温低下)による道迷い、低体温症、凍傷に注意しましょう。

茅野警察署・諏訪地区山岳遭難防止対策協会

北ハケ岳で発病や転倒事故あり



蓼科山(將軍平、山頂付近)
転倒、発病(合計3件)

天狗岳(渋の湯へ下山中)
橋の金網に靴底を引っ掛け、バラン



硫黄岳 ※死亡事故有
山小屋で発病し、死亡
天狗岳縦走中に転倒し重傷

南ハケ岳での下山中の滑落事故多し

横岳付近 ※死亡事故あり
滑落、転倒、肉離れで行動不能
(合計4件、うち死亡1件)

南沢付近
下山中にアイゼンを引っ掛け転倒

阿弥陀岳
下山中の滑落で重軽傷
(合計4件)

赤岳付近 ※死亡事故あり
地蔵・文三郎・県界の尾根で滑落事
故で死傷。スリップ、アイゼンを
引っかけるなど